

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

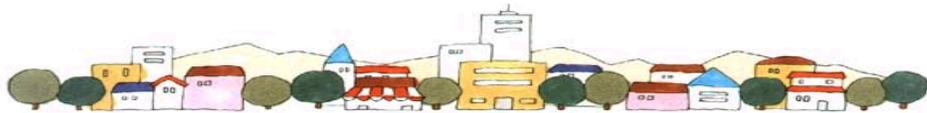
日本共産党浦安市東部後援会
News

第36号

2010年 5月14日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

市民の要求

私たちの街に市民農園を！



私は、現在六二歳、今まで会社を中心に活動してきました、定年となった今、これからの人生の生き方として、少しでも社会に貢献したいと考えています。
温暖化や食糧問題を憂慮し、身近に市民農園があればと思ひ、私もこの問題に貢献したいと、この紙面をお借りして考えてみます。

農業の現状

いま私たちの国は食料自給に関する事で言うとカロリーベース四一%、あとは外国に頼っています。「生産物の価格破壊が進み若者の農業離れ」、「農家にはお嫁さんが来ない」そして「高齢化のためお米や野菜の生産が長く続けれない」が一般的な状況です、こんな日本では明るい未来はありません。私達都市部に住む人も毎日お米を食べる等、農業の生産物を消費することにより大きく変わります。

浦安の子供達は現在農地の無い中で成長し、田舎の現状が見えなくなっています。また、「日本の食料の輸入（多国籍企業）は多くの国で飢餓や難民を作っている」と言われています。こんな農業抜きにした経済のあり方はゴメンです。日本でも食糧一〇〇%の自給を達成しましょう。

浦安市内に！

浦安で市民農園を実現しようとする今年春に浦安市長に要望しましたが、「酒々井市の農地が近々利用できる予定」等、近隣の市川市（写真）や江戸川区にあるような、身近な農園は考えていません。農園の実現は次代の農業を担う若者が生むことも考えられます。
農園のメリットは食糧直産や健康面で多くの人が推奨しています。また、農地が無い中で造るのですから公園の中に設けるのも一



市川市内の市民農園



考です。
市川市民農園に行ってみて、いっそう浦安にも実現させたいと思いますので是非ご支援ください。

田島記

日本共産党演説会

志位委員長がお話します！



鳩山政権が混迷を極める普天間や核廃絶で、志位委員長は、アメリカ・ルース駐日大使と会談。はじめて訪米しNPT再検討会議に参加しています。朝日新聞は「外交は共産党を参考に」と掲載しました。くらし応援で経済危機を打開する政策も紹介します。

必ず元気のでる演説会です。是非お誘いあわせでご参加ください。

- 日時 5月22日(土) 午後1時開場
午後2時開会
- 場所 千葉県文化会館大ホール
*JR本千葉駅から徒歩10分、千葉モノレール県庁前駅から徒歩7分
- 連絡先 元木 355-8526
*参加できる方は事前にお知らせ下さい

私（男性）の介護体験 第4回

美浜四丁目 伊那三郎

4-1. これまで私達が工夫してきた事

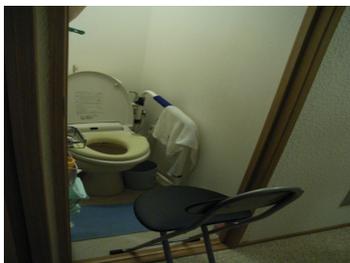
○腰を痛めない介助の工夫

残っている能力を少しでも長く維持するために、家の中ではできるだけ自分の筋肉を使った動作をさせるようにしてきました。この時、被介護者の体を支える場面が多くなりますが、中腰でやらないよう心がけています。中腰では、腰痛になるのは必至だからです。私は、支える動作に応じて、高さの違う椅子を二種類用意し(図1, 2)、数秒以上支える必要がある時は、必ず椅子に腰をかけてから妻の体を支えるようにしています。腰痛にしばしば襲われましたが、椅子の使用後は、その頻度が大幅に少なくなったように思います。



【図1】

日本の家は一般的には狭いので、介護をするのに開き戸は非常に邪魔になります。単身赴任先の住居は、借家だったので改装ができず、トイレのドアは蝶番のところで取り外し、簡易のカーテンを取り付けて目隠しにしました(図1)。



【図2】

○ベッドでの上方への体の移動介助

ベッド上で妻の体を移動させる時のために、体の下に滑りやすい布を敷いています(図3)。一番下に敷きパット(犬用のパットが大きさも良く、安い)、次にバスタオル、一番上に布を敷きます。被介助者の体を上に移動する時は被介助者の頭の方に回り、上の方から脇の下を持って持ち上げるか、体の下に敷いたバスタオルの四隅を二人がかりで持ち上げるのが普通のやり方ようです。しかし、被介助者の両脇の下に介助者の両腕を入れ、手首のところを軸にした“てこ”の原理を利用して、斜め下に入れた腕を垂直に立てることで被介助者の体を上の方に動かす方法が、小さな力で、かつ、狭い場所でもできる便利な方法です。機会がある人は是非試して下さい。



【図3】

東海道新幹線では、ベッド状態にできる椅子がある個室を事前の申し込みにより利用できます(11号車)。私達が新幹線を利用する時は、何時もこの布を持ち歩き、妻の体の移動に利用していました。

最近、滑る布と同じ狙いの介護用品がある事を知りました。値段が高い(1万円以上)なのでお勧めできませんが。介護用品は、一般的に値段が高く困ります。

日本共産党を応援してやろう会



7月に参議院選挙が行なわれます。

日本共産党に久しく期待を寄せてきましたが、本当に今度こそは押し出す時です。こうした思いを語り合ひましょう。そして、それぞれの条件の中で、応援してやろうという方も、気楽にお集まり下さい。

★ 日時 5月30日(日) 14時～

★ 場所 元木 浦安市議会議員宅 (入船4-37-14 TEL 355-8526)

★ 主催 日本共産党 浦安市東部後援会

★ 30日に参加できない方は、6/1(火)10時から同じ場所で行ないますので是非ご参加下さい。

新しい政治をめざす浦安のつどい

「新しい政治」への期待が、鳩山民主党政権への失望に変わってゆくなかで、いま日本共産党がどのような政策をもち、どのような政治をめざしているのか、多くの人に知っていただくために「つどい」を企画しました。どうぞお気軽にご参加ください。

■日時 6月12日(土) 午後6時半開場

■場所 浦安市文化会館 3階大会議室

■弁士 ・さいとう和子

参議院千葉県選挙区予定候補

・小泉親司 元参議院議員

■主催 日本共産党市川浦安地区委員会

■連絡先

元木美奈子市議

電話 355-8526



さいとう 和子
党県青年部長

先日、JR東日本が東北新幹線の新型車両の愛称を「はやぶさ」に決めたこと発表がありました。「スピード感があり親しみやすい」という理由からでした。今、地球から1660万kmの宇宙の彼方から新幹線(時速250kmとして)の62倍もの速さで地球を目指して飛行しているもう一つの「はやぶさ」がいます。「はやぶさ」は、2003年に小惑星「イトカワ」のサンプル回収を目的に打ち上げられた小惑星探査機です。2005年に「イトカワ」に見事に着陸して試料を採取、そして地球への帰還を目指して飛立ちました。途中燃料漏れやエンジン故障の度重なる故障で満身創痍の状態になりました。しかし宇宙航空研究開発機構(JAXA)の技術陣の努力により3年遅れでやっと地球に戻ってきました。

6月13日にカプセルが切り離されオーストラリアに着陸する予定となつていますが、無事に着陸することを祈りたいと思います。

健気な「はやぶさ」に比べ、普天間基地の移設で迷走する鳩山民主党政権は何とも情けない!鳩山首相、米軍にも自国に「帰還」してもらったらどうですか!